

【実施報告】

2025年度後期開講科目

**「スタディスキルⅡ（応用対話と表現）」
最終プレゼンテーション発表会を開催しました**

西南学院大学 ラーニングサポートセンター

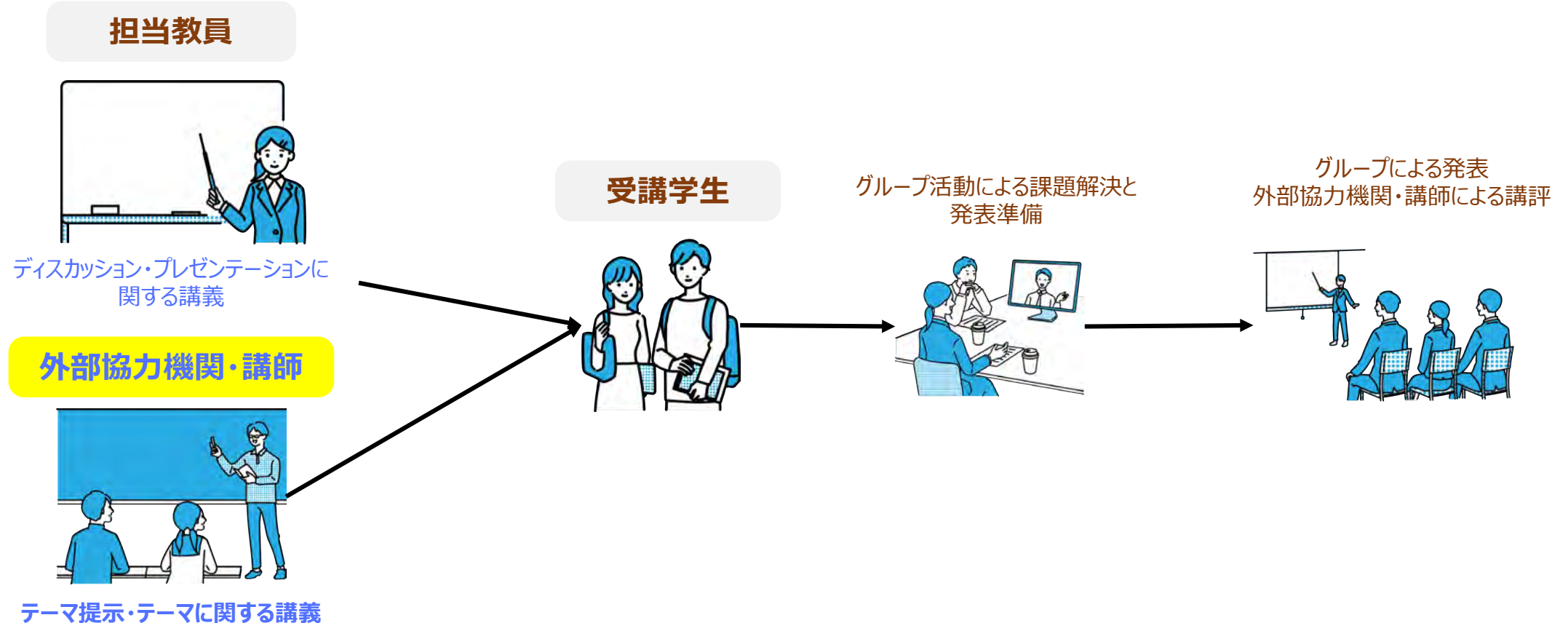
「スタディスキルⅡ（応用対話と表現）」最終プレゼンテーション発表会を開催しました

2025年12月19日～2026年1月14日の期間、「スタディスキルⅡ（応用対話と表現）」において、受講学生による最終プレゼンテーション発表会が行われました。

この授業は、他者との対話を通じて多様な価値観に触れ、課題解決に向けた表現力を養うことを目的としています。今学期は6つのクラスが開講され、それぞれのクラスにおいて、異なる外部講師や企業団体と連携。提示された課題（テーマ）に対し、学生たちはグループワークを通じて調査分析を行い、解決策の提案を練り上げてきました。

最終プレゼンテーション発表会では、これまでの講義内容や会社訪問等を踏まえて、各クラスのテーマで、受講学生によるプレゼンテーションを行いました。

- 汎用的な能力を身に着け、定着させるために、プレゼンテーションやアサーション、ディスカッション等を行います。
- プレゼンテーションとディスカッションでは、外部機関の方々にテーマを提示いただき、実践後に講評をいただきます。



授業構成

1回目

オリエンテーション

2・3・4回目

ディスカッション実践

5・6・7回目

プレゼンテーション実践

8回目

外部機関・講師からのテーマ提示
テーマに関する講義



9回目

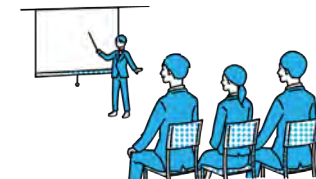
グループ活動による課題解決と
発表準備（テーマ決め）

10・11・12回目

グループ活動による課題解決と
発表準備（情報収集、原稿作成、
発表準備）

13回目

表現する力の実践・発表、講評
（外部講師からの講評含む）



14回目

学びのまとめとふりかえり

外部機関（講師）：財団法人 子ども未来研究センター 目黒実氏

テーマ：「本と教育」本屋でも、図書館でもない、本の第三の居場所（third place）を創る

• 発表タイトル

- 見せずに魅せる
- 体験型読書ツアーの提案と現実性
- 古民家を本のサードプレイスに
- 移動する本棚～広がる世界～
- キッチンカーを使って移動型サードプレイスを作る
- 本に寄り添う公民館



外部機関（講師）：JICA海外協力隊員ガーナOV 西宮奈緒美氏

テーマ：「国際協力」チョコレートのサプライチェーンのステージにおける課題解決策

• 発表タイトル

- 「つい、手に取った」の作り方
- エシカル消費の理解不足と発展途上国の課題
- 児童労働の課題と、フェアトレード商品の購買促進について
- カカオ農家の男女平等を目指して
- フェアトレードをすることで
- 「労働」から「お手伝い」へ
- サプライチェーンにおける解決策について
- ガーナのカカオ農家の貧困



外部機関（講師）：認定NPO 法人えすぺらんさ 小田哲也氏

テーマ：「SDGsと子ども」不登校の子どもに質の高い教育を提供するスクールの創造

• 発表タイトル

- 『フリースクールSANMA -みんなの居場所-』
- フリースクールの生徒の未来のために
- 先生はあなたです。～先生のいない学校～
- ここが私のフリースクール
- 一人ひとりに寄り添う、不登校のための連携型教育
- 「考えること」を取り戻す教育
- 安心できる学校を作ろう！
- 不登校の悪循環をなくすために
- 場所に縛られない新しい学びの形
- 自信を育む場づくり
- One Step Forward Next Step ～未来への選択～



外部機関：国際連合人間居住計画福岡本部（UN-Habitat）

テーマ：「国際協力」SDGsの目標達成に向けた取り組みについて考える

• 発表タイトル

- フィリピンはなぜ貧困を抜け出せないのか
- 九州における大学進学率の現状と課題～東京との格差から見てくるもの～
- なぜ日本から教員が消えていくのか
- 国内外の都市比較から考える福岡のフードロス対策の可能性
- 福岡市はエネルギー先進都市といえるのか



外部機関：リコージャパン株式会社

テーマ：「デジタルサービス」西南学院大学のDX化

• 発表タイトル

- 生協食堂のDX化
- DX化で進化する次世代図書館
- 西南のDX化で解決できることは何か
- 図書館の自習スペースの利用はどのように能率化できるのか？

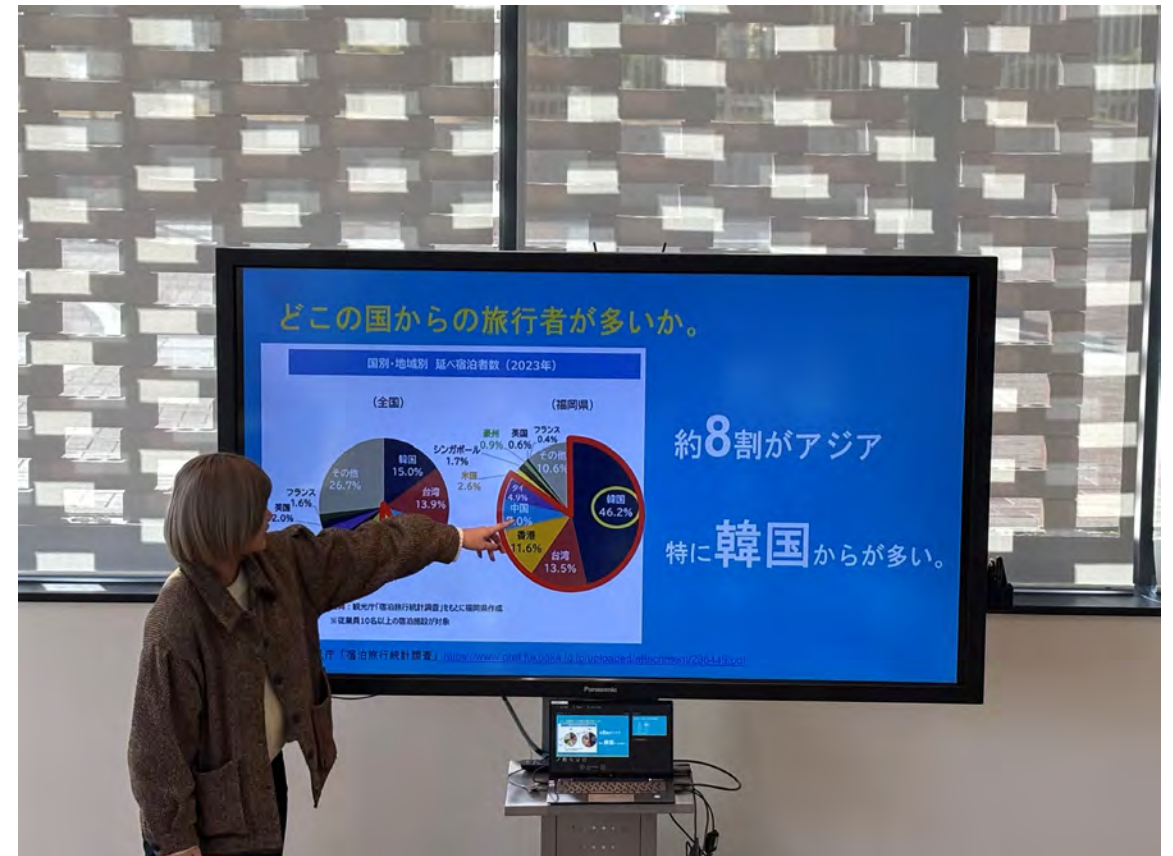


外部機関（講師）：テクロ株式会社 CEO 天野央登氏

テーマ：「大学生とマーケティング」福岡に来ているインバウンド旅行者のニーズを調べる

• 発表タイトル

- 韓国
- 福岡の良さについて
- 福岡に来ているインバウンド旅行者のニーズについて
- 福岡に来ているインバウンド旅行者のニーズとは！？



【受講生の感想（抜粋）】

- 「共同研究を通して、いかに自分の役割を責任をもって果たすことが大事なのかを実感した」
- 「グループワークではコミュニケーションが最も重要であると学んだ」
- 「共同研究では意見をまとめ、全員の考えを取り入れながら一つのものを作り上げることが難しいと感じたが、それを乗り越えたときの達成感も大きかった」
- 「これまであまり発言しなかったが、グループの雰囲気によって自分の意見を伝えることができ、新しい自分を発見できた」
- 「自分の経験や感情をこめ伝えることで相手に響きやすくなると学んだ。」
- 「『人前で話す』や『様々な人々と協働する』経験を多く得ることができ、プレゼン力や語彙力だけでなくコミュニケーションなどの人間としてのスキルが高まった。」
- 「複数の人が案を持ち寄ることで最初は想像できないようなものに仕上げることもできた。」
- 「主役は発表者ではなく聴衆であるという視点を学んだ。」